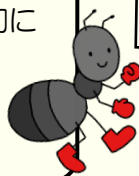


朝晩の気温差が大きくなってきました。日中はまだ暖かく園庭で遊んだり、森に散歩に出掛けたりして楽しく過ごしています。森では小さな木の枝や小石を見つけると「あい！」と見せに来て教えてくれる姿や、保育者が集めて散らした落ち葉がひらひらと落ちるのを見て同じようにやってみようとする姿も見られ、とてもかわいらしいです。模倣も盛んな時期のため、子どもたちのやってみたい気持ちを大切にしていきたいと思います。10月はあり組に新しいお友だちが加わりました。初めは様子を伺っていた周りの子どもたちも、次第におもちゃを「どうぞ」と渡し、一緒に遊ぼうとする姿が見られ、とても微笑ましかったです。

今月はますます寒さが増してきますが、園庭遊びや散歩に出掛け、体を動かす喜びをたくさん感じながら秋の自然に触れる機会を大切に過ごしていきたいと思います。また、収穫感謝礼拝を守ったり、クリスマスを待ち望むアドベント（待降節）を過ごしたりする中で神さまの愛を一緒に感じていきたいと思います。



「おはなしゆびさん」の歌を保育者と一緒に楽しんでいたAちゃん。保育者が歌に合わせて指を一本ずつ順番に出していくのを見て一生懸命やってみようとしていました。やっとの思いで人差し指が出せると得意な笑顔を見せてくれました。かわいらしかったです。

朝夕の冷え込みで寒さを感じる季節となりましたが、日中は暖かく、戸外で元気いっぱい過ごしています。

10月の晴れた日は、友だちと手を繋いで大学の森へ行きました。途中で手が離れると、お互いに手を握り合おうとする姿が微笑ましかったです。森では、おばけはっぱ（葉っぱをくり抜き、目と口に見立てる）を持って、「おばけだぞー」と言って追いかっこを楽しんだり、木の実や葉をお友だちと一緒に集めて並べたり、切り株に一生懸命よじ登り体を動かす姿が見られました。これからも秋の自然を感じながら心と体をたくさん動かして過ごしたいと思います。

11月6日は収穫感謝礼拝があります。実際に野菜や果物に触れ、秋の実りを神さまに感謝し、礼拝を守りたいと思います。また、11月後半からクリスマスを待ち望むアドベント（待降節）に入ります。保育室を飾ったり、おうちの方へのプレゼントを作ったりしながらイエス様のお生まれになったクリスマスを楽しみに待ち、神さまの愛を感じながら過ごしていきたいと思います。



戸外へ行く時、自分で靴を履いたり帽子を被ったり、意欲的な姿が見られます。ある日、Aくんの「できた！」という声で振り返ると、帽子が前後反対で、顔がサンシェードで隠れていました。その後も「あれ？あれ？」と言いながら何度被り直してもサンシェードが前になってしまいますが、自分でやってみようとする一生懸命なAくんの姿が微笑ましかったです。

日中は暖かさを感じる日もありますが、すっかり秋らしくなってきました。戸外では落ち葉や木の実など秋の自然物を発見し、みんなで喜んでいきます。先月の遠足では東光寺まで歩き、新幹線を見たり、大学構内の芝生でシャボン玉やしっぽとりをしたり楽しい思い出がたくさんできました。遠足の中でりす組の子どもたちが一番楽しみにしていたのが、お弁当です。みんなお弁当を広げると「見て！これ卵なの！」「これはおにぎり～」と目を輝かせながら、おいしいお弁当をお腹いっぱい食べていました。お家の方に作っていただいたお弁当は格別です。

11月6日に収穫感謝礼拝があります。持ち寄った果物や野菜を見たり触れたりして、神さまに秋の恵みを感謝し、礼拝を守ります。また、11月の後半になるとクリスマスを待ち望むアドベント（待降節）に入ります。イエスさまがお生まれになったクリスマスが近づくことを子どもたちと一緒に楽しみにしながら過ごしていきたいと思います。お家の方への内緒のプレゼント制作では、毛糸巻きや色々な素材の物をボンドで貼るなどして心を込めて作っていきます。楽しみにしててくださいね。

木の実を見つけたAちゃん。たくさん拾い嬉しそうに見せてくれます。「これはお母さんで、これがお兄ちゃん、…」と木の実一つひとつを家族のみんなにプレゼントしようと拾うAちゃん。家族を思いながら過ごすAちゃんの優しさに心温まりました。

